

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

別添資料6

公表:令和2年3月2日

事業所名 Ikutas kids

保護者等数(児童数) 54

回収数 36

割合 66.7 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	35	1	0	0		今後も、療育に必要な部屋が確保できるよう、療育のスケジュールを考えていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	34	1	1	0	●15時以降も、教えてくれる言語の先生がいたら助かります。	15時以降、言語療法ができる、児童指導員を補充できるよう、努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	25	9	0	2	●バリアフリーになっていません。●天井が剥がれていたり、カーペットの汚れやほこりが気になります。●参観や見学の時に、決まった部屋しか見ていないので、知らない所もあり、分かりません。●トイレのスペースを、もう少し広くして頂けると助かります。	エレベーターがないので、車いすが利用できません。旧保育園の階段で、16cmという低い段差のため、幼児には上りやすくなっています。問題はないと考えています。天井の剥れを修理するよう努めます。カーペットの汚れやほこりをきれいにするため、清掃に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	30	5	1	0		低年齢の子どものために、事業所の3Fの大人用の洋式便座の上に置ける、幼児用の補助便座があります。2Fに幼児用の洋式便座があります。利用の周知を行っていきます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	33	3	0	0		今後も初回と、6カ月に1回以上の面談で、療育担当の職員と児童発達支援管理責任者が、ニーズや課題等を詳しく聞くように努めていきます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	28	5	0	3		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	35	0	0	1		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	32	2	0	2	●支援に合った教材をいつも適切に選んで頂き、成果がきちんと出ています。	同じ活動プログラム(箸の使い方等)、繰り返し行った方が良い場合もあります。また、活動プログラムを変えた方が良い場合もあります。子どもの発達の状況に合わせて、臨機応変に活動プログラムを考えていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	11	19		子ども一人ひとりに適した、1時間の専門療育を行っているので難しいです。また、必要性がないと考えている保護者や、通所を知られたくない保護者もいるので難しいです。
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	33	0	0	2		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	33	1	0	2		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	22	5	3	6	●保護者へのいろいろな助言が適切にされていて、役立っています。●仕事などで参加した事はありませんが、定期的に説明会やコミュニケーションを取る機会はあると感じました。	令和2年7月～令和2年2月、月1回7回、数人の保護者に対して、ペアレント・トレーニングの研修を行いました。事業所内の階段の掲示板に、研修の案内を掲示して、希望者を募りました。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	36	0	0	0		療育の間、必要に応じて、療育の担当者が子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解を持てるように努めています。 今後も、保護者のご要望があれば、子どもの療育の様子を、保育園や幼稚園の先生に伝えていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	31	3	1	1		療育の間、必要に応じて、療育の担当者が育児に関する助言等を行うよう努めています。支援計画を作成するため、職員が概ね6カ月毎に、保護者と面談をしています。ご要望があれば、2カ月毎に面談することも可能です。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	3	15	15		父母の会や保護者会の活動はありません。今後、要望があれば活動を支援していきたいです。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	28	2	1	5		職員間で、相談に対する改善策を考え、迅速かつ適切に対応するよう努めています。また、「ご意見箱」を事業所内に常設しています。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	35	1	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5	4	3	23		ホームページを更新をするよう努めていきます。療育の内容の説明が、より分かりやすくなるよう、改善します。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	32	0	0	4		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	9	5	3	19		各マニュアル策定し、事業所内で常設し、職員は周知しています。職員に対し、訓練を実施しています。保護者への周知は行っていません。ご協力いただければ、療育とは別の時間に、子どもと保護者も参加した訓練を実施したいと考えています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	8	2	5	21	●週に1回、通っているだけなので、実施されているか知りません。	様々な災害を想定した避難訓練を、職員に対し、定期的を実施しています。保護者への周知は行っていません。ご協力いただければ、療育とは別の時間に、子どもと保護者も参加した訓練を実施したいと考えています。 事業所の建物の耐震性には問題はありません。毎年、防火設備の点検等を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	33	2	0	1		今後も、療育の中で、家庭でもできる課題を、さらに多く提供できるように努めていきます。また、子どもに自信を持ってもらうために、より多く、指導員が子どもを褒めるように努めていきます。その日の子どもの気分や状態も考えながら、より良い療育が行えるように努めていきます。
	23	事業所の支援に満足している	36	0	0	0		今後も、子どもの様子を観察し、子どもの発達の状況に合った支援内容を提供できるように努めていきます。 今後も、保護者の付き添いが難しい場合などに、ノートに、療育の様子を丁寧に書き、保護者に渡すように努めます。気づいた事や改善してほしい事等ありましたら、電話連絡やノート等で知らせてください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。